

# 情報科学研究科 新大学院生ガイダンス 教務関連の説明

---

不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ  
[kyomu-info2026@m.hiroshima-cu.ac.jp](mailto:kyomu-info2026@m.hiroshima-cu.ac.jp)

# 説明内容

---

1. 学生証・研究題目届について
2. 履修登録について
3. 修了要件
4. 研究科共通科目

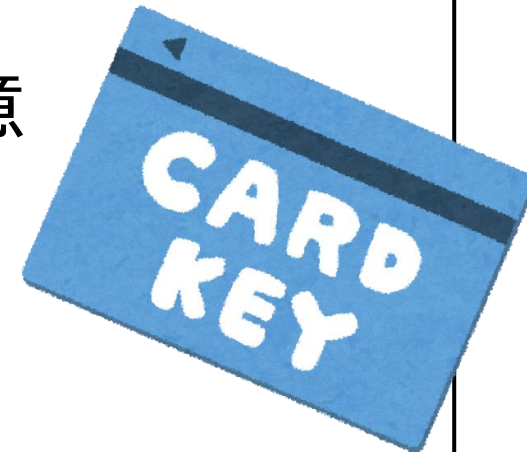


# 1. 学生証・研究題目届について

## 学生証は建物や研究室へ入るためのカードキー\*

- 電気錠申請手続きが必要になることがあるため、速やかに指導教員に**学籍番号**を伝えましょう！
- (内部進学者) 学部時代の学生証は使えないので注意
- 紛失した場合は、すぐに再発行の手続きを  
(カギなので悪用される恐れもあります)

\*一部、物理鍵への切り替えが行われています。



### 研究題目届：

主指導教員と相談の上、**4月10日(金) 17:00までに必ず提出**

※副指導教員(2名以内)の登録が必要

提出方法：**Forms(右記)により提出** 大学HPも参照



<https://forms.office.com/r/Jbqkz1wbpX>

## 2. 履修登録について

- 履修登録なしで**単位は取れない**（絶対に必要な手続き）
- 大学院は**1年分（前期・後期の両方）**を一気に登録
- 「忘れていた・間違えた」では済まされないので注意！**
- Webで期日までに履修登録。** 確認期間に**間違いが無い**か必ず確認

後期分を  
忘れずに

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3/29	3/30	3/31	4/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	5/1	5/2

履修登録期間  
4/15 17:00 まで

履修確認期間  
4/24 17:00 まで

# 履修登録と取り消しについて

- **特別演習**は1年前期に I、後期に II、2年前期に III、後期に IV を履修
- プロジェクト演習 I・II は**初回ガイダンス（4/17, 704講義室）**にて説明
- 講義内容はいちぽる（UNIPA）掲載の**シラバス（授業概要）**で確認できる
- 履修登録後は、**履修取消期間でなければ取り消せない！**
- その他資料は**Web**からダウンロード

履修取消期間  
(第1ターム科目)  
4/24 17:00 まで

日	月	火	水	木	金	土
4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
4/26	4/27	4/28	4/29	4/30		
3	4	5	6	7		
10	11	12	13	14		
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

履修取消期間  
(前期科目)  
5/22 17:00 まで

# 3. 修了要件

詳細は[大学院履修案内](#)を確認すること

科目区分	必要単位数
全研究科共通科目	2 単位
講義	18 単位以上 (*つきの科目から 8 単位以上)
演習 (必修)	8 単位以上
合計	<b>30 単位</b>

+

- 学外 (学会等) での発表
- 修士論文執筆
- 修士論文発表

# 4. 研究科共通科目

2023年度より  
スタート

- **情報科学特別基礎講義**（前期集中）
  - IoTを支えるセンサーネットワークとその応用技術を題材とした講義と実習
  - 前半はオンデマンド講義（UNIPA 上）
  - 後半はロボットカーを使った対面実習（集中）  
日時：調整中
- **情報科学特別実践講義**（前期集中）
  - 各専攻の内容を代表する講師（外部）によるオムニバス形式の講義
  - 専攻横断的な実践的知識を得ることができる（今年度はAI関連の内容）
  - 日時：7/30, 7/31, 8/4, 8/5, 8/10, 9/3, 9/4
- 情報科学研究科共通で皆さんに学んで欲しい内容を用意しています。是非、受講を検討してください。
- 詳しい日程は[時間割（UNIPA）](#)を参照してください。

# プロジェクト演習 I・II

2022年度より  
スタート

自治体や企業と連携して「プロジェクトの立上げ」から  
「実施・成果報告」までを体験する実践的演習

1. **初回ガイダンス** (4月16日(木)3限、講義棟602)

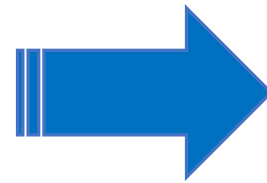
■ M1全員参加(原則)

2. **マッチングセッション** (4月23日, 4月30日(木)3限、講義棟602)

■ M1全員参加(原則)

■ 各プロジェクトの説明

■ 企業の方とのフリーディスカッション



マッチングへ



3. 参加者説明会 (5月中旬)

4. プロジェクトの立上げ・申請 (演習 I の内容)

5. プロジェクトの実施と成果報告 (演習 II の内容)

マッチングセッションの詳細  
は後日案内 (メールや掲示  
板に注意を)

# テーマ(4つ)

## (1)株式会社インターロジック

幼児教育における効果的なAI活用法

## (2)株)コーヨー

ゴミ収集・リサイクル業界の課題解決をIT化によるアプローチで検証

## (3)株式会社モルテン

※音響工学の知識があることを前提

オーディオ音質評価システムに関する研究

## (4)マツダ株式会社

※音響工学の知識があることを前提

マツダブランドサウンドの音質研究

# 最後に

- 大学院では、より主体的な行動が求められます
  - 学部のところより、自由な時間が増えます
  - 授業以外の**自由な時間に何をするか？は貴方次第**です
- 社会でも活躍する人財になれるよう、**丁寧に教育**します
  - 単に高度な知識・技能を覚えるだけでは、継続的な活躍は困難です
  - 自分で学習を継続できるよう**「学び方」を修得**してください
  - また、1人で抱え込まず、色々な人と**コミュニケーションを取りながら協働で進める方法**も身につけてください
- **我々教員は、皆さんの主体的な学びを応援**します

ご清聴  
ありがとうございました

